

一橋大学

スポーツ研究

2011

Vol.30

グローバルの過程とスポーツの変容

目次

| | | |
|---|-------|-----|
| はじめに | 岡本 純也 | 1 |
| I. <論考> | | |
| 1. 武徳会ページの審査実態 －審査結果の全体像と本部役員のページを中心に－ | 坂上 康博 | 3 |
| 2. 「スポーツと開発」をめぐる諸問題 －実行組織としての NGO に関する包括的研究にむけて－ | 鈴木 直文 | 15 |
| 3. 「戦後日本の地域スポーツ転換のグラデーション」試論 | 尾崎 正峰 | 23 |
| 4. 学校運動部活動研究の動向・課題・展望 －スポーツと教育の日本特殊的関係の探究に向けて－ | 中澤 篤史 | 31 |
| 5. 高い競技力を有する実業団陸上競技部監督によるマネジメント －トップレベル 19 チームに対する定性的調査－ | 中村 英仁 | 43 |
| II. <研究ノート> | | |
| 1. EU とスポーツ政策 | 坂 なつこ | 51 |
| 2. スポーツ研究と「統治性」 | 鬼丸 正明 | 57 |
| 3. 地域活性化策としてのスポーツ・ツーリズムの可能性 | 岡本 純也 | 61 |
| III. 特別報告 | | |
| 英国におけるスポーツ史研究のこれまでをふりかえって | 市橋 秀夫 | 67 |
| IV. 総目次『研究年報 1982～2002』『一橋大学スポーツ研究 2003～2011』 | | 85 |
| V. 2010 年度研究会日誌／執筆者紹介 | | 103 |

編集後記